

# 3月31日：ひとりひとりのためのニュース

No. 9

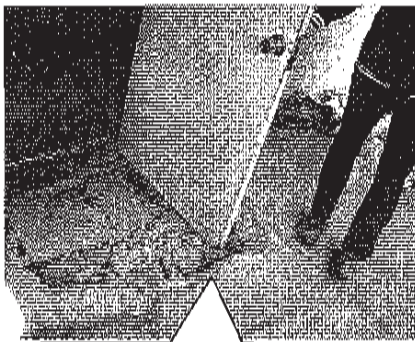
発行：社会福祉法人くわの福祉会  
特別養護老人ホームおおつき内

## ① 地域へ救援物資届けています ～あだたら育成園への支援～

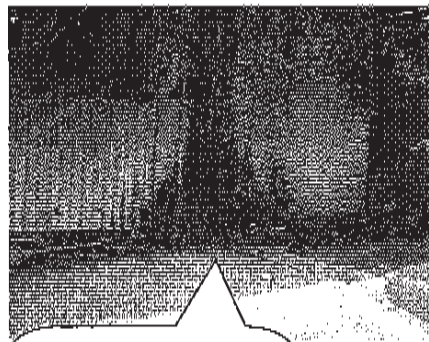
◆大玉村にあります障害者施設あだたら育成園へ被災後 2 度目の救援物資を特養おおつきから届けました。あだたら育成園は山の中腹に建つ入所 30 名の施設と授産施設を併設に持つ福祉施設です。今回は主に段ボール 30 箱にわたるオムツやタオル、衣類などを届けました。

しかし生活物資が届けられた一方で、避難しなければならない深刻な現状にもあります。育成園の事務所がこの震災で地滑りを起こしており、建物自体が赤札(緊急避難対象で倒壊の恐れあり)と認定されました。また、地続きの育成園本館も赤札に近い黄色札とのことです。事務所には地域の在宅障害者の方々からの連絡も入ってきています。事務局の方は「(入所の人)はいくつかに分かれての避難を考えているが、(職員)は事務所からは逃げられないなあ」とあくまでも地域支援を続けていく方針です。また「来年耐震強度の設備を整える予定だったんですよ」と思いもかけない現状を受け止めるしかない様子でした。

授産施設の方は今週再開しました。しかし、生活を守るといふことにはまだまだ時間を有するようです。



事務所前の玄関が地滑りで段差ができて堅ちています。



地面が左に傾いています。地滑りの模様です。



## ② 私、あの日から変わりました ～特養おおつき職員の避難生活～

◆特養おおつき西棟介護員として働く伊東晴美さんは、あの時自宅アパートで子どもと2人でいるところを震災に遭いました。アパートは住める状態ではなくなり郡山市久留米の実家にその日から一時避難しました。翌日の勤務に向けて「利用者が断水に困っているはず・・・。」と思いリュックに入るだけの飲料水を詰め込んで、道のり約 10 キロを徒歩で出勤しました。翌々日には夫の実家がある熱海町へ避難場所を変え、勤務に当たっては今度は自転車に水を乗せて約 2 時間かけて出勤をしました。そして晴美さんは、「必死の思いで過ごしてました。けれど熱海町の近所の方々が優しくかったです。ガソリンを分けて下さったのもご近所の方です。」と話し、ガソリン不足のさなか約一週間ぶりの自動車通勤ができるようになりました。今もアパートには帰れずに夫の実家の熱海町から出勤しています。

「生活環境が変わったせいか、何でも手が届く今までの生活が贅沢に思えて仕方がないです。生活に対する意識も変わりました。おかげで(?)震災後健康的に 7 キロ痩せてしまいました。」とあの日から変わった自分自身を誇らしげに話してくれました。



### ③ 発信！地域貢献をしたい。 ～理髪店マキシムでの出来事～

◆毎月特養おおつきの利用者向けに散髪に来て下さるのが「理髪店マキシム」さんです。この震災で店のガラスは割れ断水の影響もあり、営業は中止せざるを得ませんでした。マキシムさんは国井武さん一家(本人、妻、長男、長男嫁)の4人で店を切り盛りしています。普段から店以外でも散髪できる場所各地へ出向いていました。断水の復旧のメドがついた頃武さんは「何か地域に貢献したい」と思って避難者への無料シャンプーを行なう行動に出ました。場所はピックパレット福祉や安積高校に避難されている方々を主に車で店まで送迎をしながら行なったそうです。また町内の方々に声をかけて段ボール16箱にもなる衣類を集めて避難所へ届ける活動も行ないました。武さんの妻は「店も大変でした。普段からいつも4人ですが朝礼を行なっていました。今の自分の気持ちや反省点など、小さな出来事でもいいから報告し合っていました。そんな中から今回も地域に貢献したいという気持ちが出てきたのだと思います。それに特別なことと思われるかもしれませんが、助け合おうとするのは当たり前のことですよ。」と決意ある行動について話してくれました。

特養おおつきでは3月24日(木)から散髪を再開しました。「カッコよくするかい?」「めんごくなるからね～」と普段と変わらない会話が、また笑いとともに当たり前のように聞こえていました。いつもありがとうございます。これからも宜しくお願いします。



「普段と変わらない会話をしながら」



「さっぱりしましょ!」



国井さんの妻とお嫁さんです。

### ④ 今後の動きについて

◆本日郡山医療生協より民医連から届いた救援物資の中から、オムツ類やタオル類をいただきました。また、21. 老福連からも配達便で飲料水などの物資が届く予定となっております。必要などころに必要な分だけ物資をありがたく使用させていただきます。誠にありがとうございます。



#### ●お知らせ●

- ①インフルエンザの流行が続いております。外からの感染を防ぐためにも出入りする職員の皆さん、一人一人意識を持って行動して下さい。施設でのハイボ対応を3月末⇒次回感染対策委員会の日程まで延長することとしました。ご協力よろしく申し上げます。
- ② 再度のお知らせです。職員の皆さんが加入している各共済への災害見舞金等の請求については、確認が取れ次第、後日各職場へお知らせします。
- ③ 念を押して、ガソリンの供給は出来ますので必要時には事務所までご連絡下さい。

発行：福島県郡山市大槻町西勝ノ木5-1

024-962-3939

施設長 菊谷 朗